



長いなあ～と思っていたお正月休みも 過ぎてみれば” あっ ” という間で まだ2021年が抜けきらないままに 新しい年…2022年に突入しました
皆様は。。。有意義なお休みを過ごされたでしょうか？



おめでとうございます
 本年も どうぞよろしく
 お願いいたします。

新年初の スズケンの朝礼にて・・・社長からの言葉は【自分との約束を守る】ということでした！！

私たちが生きていく中で 約束はいたる所に存在し…又、それを守る事で円滑に事が進み 信頼関係の構築も出来ます 例えば信号  がそうですし。。会社の出勤時間もそうです！ みんなが自分の好き勝手に行動したら 大変な事になってしまうでしょう  でも、それよりも もっと手前にあるのが “自分との約束” だということです  自分との約束は…まず朝一番にあります  夜、寝る時に明日の朝は何時に起きようと決めたら それをまず守る事から始まるのです！ 寒いから布団から出たくない  後。。5分だけとかの弱い気持ちに打ち勝ち 自分との約束を守る事が とても大切な事だ…と社長はおっしゃるのです  うん 確かに スポーツに

おいても どんな分野にしても 最終的には自分との闘いだとよく耳にしますよね～

約束だから誰にも迷惑はかけないと思いがちですよ  2022年は簡単そうで難しい” **自分との約束** ”を念頭に頑張りたいと思います
くしくも 2月3日は節分です 自分の弱い心の鬼を豆まきで 追出すことから始めまーす (笑)  



新年明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願いいたします！

キンコーン・カンコーン」 「みなさーん！おはようございます！」
月曜日～土曜日までの AM10:00 きっかりにスズケンの朝は始まります！

初めて弊社の朝礼を見た方は きっとビックリするでしょう **“軍隊みたい” “消防団みたい”**
なまじ嘘ではありません そのくらいキビキビしています 指先をビシッと揃えて姿勢をピンと正す! 基本姿勢・お辞儀
(礼)の角度は30度・・社員の皆さんは「こんな事 何でやるの?」「うるさいなあ～」と思っている方もいるでしょう

そもそも朝礼とは・・・??という事なんですが
 一日の仕事を始めるに際しては、社員同士がお互いに心のけじめをつけ チームワークを向上させて 仕事上の目的や目標を
 正しく認識して行動することが望めます。 その第一歩が朝礼です!!

朝礼には、その企業の社風・社員の質などが表れてきます
正に朝礼は”企業の縮図”とも言えるでしょう

朝礼を単なる【報告・連絡・相談】の場で終わらせず【教育の場】として活用すれば 日々繰り返し行えるだけに その効果は絶大なものとなります
朝礼は。。社風や人的質を向上させる大きな力を秘めています。1日を元気にスタートさせる為に弊社では **《活力朝礼》**と呼んでいます



活力朝礼の基本的な考え方

- ① スタートを合わせる（方針の徹底）
- ② モチベーションを高める（士気の高揚）
- ③ コミュニケーションを深める（チームワークの向上）
- ④ マナーを磨く（基本動作の習得）



活力朝礼の目的

- ① ウォーミングアップ（仕事に向かう心身の準備）
- ② 情報の共有化と徹底（連絡・報告）
- ③ 目的・目標の確認（経営理念の唱和で会社の方向性を確認）
- ④ 基本動作をマスター（企業・社員一人一人の質的向上）
- ⑤ チームワークの向上（『職場の教養』の活用で相互理解の深化）

弊社の活力朝礼は、老若男女・国や宗教を問わず 経営者と社員間の溝を取り除き…1人の人間として ふれあう場だと思っています

本年も 活力朝礼を通して 共に学び・共に尊び・共に栄え。。。幸せを創造して行きます!!

(株)スズケン 代表取締役：鈴木 博久



へえー

知らなかった!!

お宮：子宮

参道

產道

鳥居：兩足

赤ちゃん筆熊野

新年を迎え 初もうでに行かれた方は 多いと思うのですが、その際に訪れる
神社にまつわる ちょっと興味深いお話を聞いたので お伝えしようと思います

それは… 神社と女性の身体には密接な関係があるということなんです！！
 一説によると「神社は女性の身体を表す」という事でした

神社に行くときまずあるのが 鳥居ですが…あれは女性が立ってる姿
二本の脚で。。その後…参道を通して お宮につくわけですが
参道は、赤ちゃんが産まれる時に通る（産道）でお宮は（子宮）
なのだそうです!!

だから。。神社にお参りに行って 帰って来ると言う事は もう一度
生まれ変わる 「お母さんの子宮に戻り産道を通り 再び産まれ出る」
という事を意味するみたいですよ 🙄 お参りの後は 何かスッキリ
として浄化された気分になるのは こういう事かもしれませんね
そして…結婚して旦那さまから 家のかみさんが。。と呼ばれたり
するのも女性が（神さん）たる所以なのかも。。。 （笑）